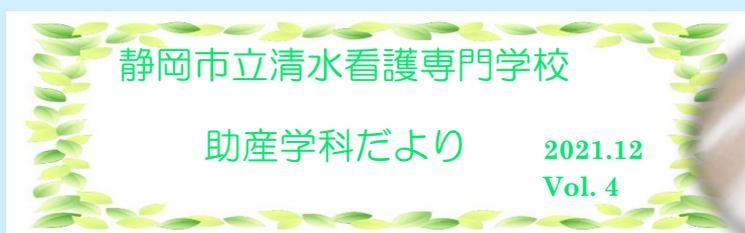


Toward the hope! あなたの「助産師への夢」を全力で応援します！



10月から年末までの助産学科

11月1日～12月17日まで分べん介助実習Ⅱを行いました。
前回の助産学科だよりから実習開始まで、講義や演習など忙しい日々が続きました。
実習の準備をしながら、講義などに奮闘する助産学科の学生の様子をお伝えします◎

◆ 母親学級の運営（科目名：健康教育演習）

前回、準備の様子をお伝えした母親学級を、10月18日に看護学科の3年生を対象に行いました。設営や受付、体調チェックなど実際に清水病院で行われる母親学級と同じように行いました。

この母親学級では、分娩経過についての説明やお産劇を行いました。終了後のアンケートでは、「お産が始まる徴候とお産の流れをイメージすることができたか」「病院へ連絡するときの状態やタイミングはわかったか」の質問に対し、参加者の83%から「わかった」と回答がありました。



◆ 子育て支援センターでの演習（科目名：地域母子保健）

静岡市清水中央子育て支援センター所長さんや職員さんから、子育て支援センターの役割や母子への支援について講義をしていただきました。また、実際に利用されているお母さんとお話しをしたり、子どもたちの様子を見学しました。

子育て支援センターは子どもの成長・発達を見守り、子育て家庭の支援を行う地域に必要な事業であることを学びました。



看学祭

昨年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となった看学祭ですが、今年度は学内で開催をしました。助産学科は、学習の成果の展示や母親学級で行ったお産劇、これまでの学生の学校生活の様子を上映しました。

